

1 この科目の構成について

教 科	地理・歴史科	科 目	日本史B	単 位	3単位
対象コース	情報ビジネスコース	対象クラス	3年7組		
使用教科書	高等学校 日本史B 最新版 清水書院				
使用副教材					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
日本の歴史が、ひとり日本人の自発的・内発的な力によって形成されてきたのではなく、原始・古代・中世においては中国・朝鮮との政治的・文化的関係のなかで、また近代史・現代史においては国際社会のなかで形成されてきたことを考えていきます。正しい知識や相対的な思考力を身に付け、「歴史をみる眼」を持つことによって、昨今の国際情勢の激変、それにもなう日米関係や国内の政治・経済・教育の変化、さらには地域社会の変化に対して、客観的な判断力を養ってもらいたいと思います。	
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
①原始・古代史は、日本の歴史が主に中国・朝鮮との政治的・文化的関係を通して形成されてきたことを学びます。 ②中世史・近世史は、平安末期に誕生した在地領主制が、やがて集権的な織豊政権・徳川政権（幕藩領主制）へ変化していったことを学びます。 ③近代史は、後発資本主義国としての日本が歩んだ歴史を、対外戦争や議会政治、産業革命などと関連させて学びます。 ④現代史は、戦後の冷戦下で、アメリカの国際的な戦略のなかに位置づけられた日本の歴史を、政党政治や国民の民主化運動、高度経済成長などを中心に学びます。	
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
（１）学校 1)板書事項を正確にノートに書くことが必要です。 2)その授業で説明された歴史用語や頻出重要文章を確実に理解するとともに、授業の流れを把握することも必要です。 （２）家庭 1)授業で教わった内容の復習を欠かさず行う。 2)定期考査前や長期休業前などに宿題を課すので、必ず解答して提出すること。	

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何を使って評価するのか—
①定期考査：年4回の定期考査（授業・教科書の内容から）。 ②定期考査ごとにノートを回収して、確実に板書をノートしているかチェックします。 ③授業への取り組み：積極的な発言、教科書へのマーカーなど、基礎的な作業。 ④宿題：定期考査前や長期休業前に宿題を出します。授業で学んだことをもとに、正しく解答して、提出すること。	
評価における定期考査の割合	
70%	

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
（１）関心・意欲・態度 歴史上の人物や出来事について関心を持って授業にのぞんでいるか。教科書・ノートへの記入を確実にしているか。	
（２）思考・判断 アジアや欧米など世界史の中の日本史という視点で歴史をとらえているか。また、歴史的背景とともに歴史用語を捉えているか。	
（３）技能・表現 教科書の図版・史料の理解ができているか。	
（４）知識・理解 習得した歴史用語を使い、文字情報としての試験に対応できているか。	

年間学習計画				—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—				重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目		学 習 の 内 容				関	思	技	知
1	4	第3編 近世		①ヨーロッパ人の日本来航を世界史的な視点で捉え、その影響を受けて、織田信長と豊臣秀吉が戦国の世を統一していく過程を、織豊政権の実態とともに学ぶ。				●	●	●	●
		第1章 中世から近世社会へ		②ヨーロッパ人がもたらした「鉄砲」と「キリスト教」が織田信長と豊臣秀吉に大きな影響を与え、天下統一を進める原動力となったことを学ぶ。				●	●	●	●
		34 近世初頭の日本と東アジアをとりまく状況とは		③時代情勢を背景として成立した桃山文化について、南蛮貿易との関連性もふまえながら学ぶ。				●	●	●	●
		35 信長と秀吉はどのように天下を統一したか		④江戸幕府の成立過程と組織の特色を理解し、幕府による大名と農民統制の徹底が幕藩体制の安定につながっていく経過を学ぶ。そして支配体制を安定させた幕府が、キリスト教の禁止を主たるねらいとして鎖国体制を築いていく過程を学ぶ。						●	●
		36 倭地・刀狩、朝鮮侵略はどのようにおこなわれたのか		⑤江戸幕府は当初、貿易・外交面において積極的活動を展開するが、キリスト教の禁止という流れの中で鎖国体制に移行する。そのような状況下で「四つの口」を通して外交が展開されていたことを学ぶ。〈道德教育を実施〉						●	●
		37 信長・秀吉の時代にはどのような文化が生まれたのか									
		第2章 幕藩体制の成立と国際関係									
		38 幕藩体制とはどのようなものであったか									
		39 江戸時代の村と町はどのような姿であったのか									
		40 近世社会にはどのような身分集団があったのか									
		41 近世初期の国際関係はどのようなものだったか									
	5	第3章 幕藩体制の展開と元禄文化		①武断政治から文治政治へ転換を余儀なくされた背景を学び、その根幹には諸産業と流通の発達があったことを理解する。					●	●	●
		42 平和のもとで政治・経済・文化はどのように変化したか		②それぞれの文治政治を考察し、政治の転換がなぜ必要になったのか、また転換を可能にした社会的背景はどのように変化していたのかを学ぶ。					●		●
		43 農業生産の向上は何をもたらしたか		③農業や漁業技術の発展により生産力が格段にあがり、近世社会の経済的基盤を形成したことを学ぶとともに、交通・流通、株仲間などの商業組織、貨幣制度の整備により江戸時代の経済が安定期を迎えたことを学ぶ。				●	●	●	●
		44 交通はどのように整備されたか		④新興都市商人の活力が元禄文化の隆盛の背景にあったことを学ぶ。また元禄文化成立の政治的・社会的背景を学ぶ。				●	●	●	●
		45 商品とお金の流れはどうなっていたのか									
		46 儒学や学問はどのような展開をみせたのか									
		47 近世中期までの文化にはどのような特色があるか									
		【第1回考查】		【第1回考查】							
	6	第4章 幕藩体制の動揺と化政文化		①享保・寛政・天保の諸改革の政策を学ぶ。				●	●	●	●
		48 吉宗はどのような政治をおこなったのか		②なぜ幕府が改革を断行せざるを得なかったのか、その背景にある生産力の発展、剰余の成立とその収奪、商品経済の発展、地主制の進展、百姓一揆、三大飢饉を関連させて学ぶ。				●	●	●	●
		49 田沼の政治や寛政の改革は何をめざしたのか		③欧米列強が日本に接近した世界史的背景と幕府の対応を学ぶ。				●	●	●	●
		50 19世紀前半の「外圧」とはなんだったのか		④天保の改革失敗後の幕府権力の衰退と、幕末の藩政改革に成功した薩長雄藩の台頭について学ぶ。					●		●
		51 農村社会と地域経済はどのように変化したのか		⑤寛政・天保の改革で弾圧を受けながら、化政文学の諸ジャンルが誕生していったことを学ぶ。				●		●	●
		52 幕府・諸藩の改革はどのような結果であったのか		⑥国学、蘭学など実証的学問の成立、各藩の教育、安藤昌益の思想などを学ぶ。				●		●	●
		53 近世後期の文化はどのような特徴をもっていたのか									
		54 国学と洋学はどのように発達したのだろうか									
		55 学問や思想はどのようなひろがりをもせたか									
		【第2回考查】		【第2回考查】							
		第4編 近代									
		第1章 近世から近代社会へ		①世界史的視野に立ってペリー来航の経緯を把握し、やがて開国へと至る過程を2つの条約の内容とともに学ぶ。				●	●		●
		56 どのような世界史的背景で日本は開港したのか		②開国が国内に与えた影響と国内政局の混乱、そして討幕に至る政治過程を、幕府・薩摩藩・長州藩の動向を中心にして複合的に学ぶ。				●	●		●
		57 開港は社会にどのような影響をあたえたのだろうか									
		58 江戸幕府はどのようにして倒れたのだろうか									

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—		重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	技	知
2	7	第2章 明治維新と立憲国家の成立 59 新政府はどのような国家をめざしたのだろうか 60 政府はどのような産業政策をすすめたのだろうか 61 明治政府の宗教・文教政策とは 62 明治初期の国際情勢とはどのようなものだったのか 63 欧米文化は人々の生活にどのような影響をあたえたか	①明治政府が目指した中央集権体制の成立過程を、廃藩置県・地租改正・徴兵令などに注目しながら学ぶ。〈道德教育を実施〉 ②政府主導により殖産興業・文明開化が推進されていった過程を学び、欧米文化による近代化・近代産業の育成や初期の外交とともに学ぶ。 ③明治政府が自由民権運動を経験し、立憲体制を確立する過程と政体の実態を学ぶ。 ④自由民権運動がなぜ衰退していったのか考察し、運動の過程で豪農・貧農層が中心的な役割を担ったことを学ぶ。 ⑤条約改正の実現から日清戦争に至る過程と、三国干渉・日英同盟成立を経て、ロシアとの戦いに至る過程を国際的視野に立って考察する。	●	●	●	●
	8	64 自由民権運動とはどのようなものだったか 65 立憲体制はどのようにして確立したのだろうか 66 条約改正はどのように達成されたのだろうか		●	●		●
	9	第3章 日清・日露戦争と東アジア 67 日清戦争前後の政治はどのようなものだったのか 68 日清戦争で東アジアはどう変化したのだろうか 69 日露戦争とはどのような戦争だったのだろうか 70 日露戦争で東アジア情勢はどう変化したのだろうか	①近代化を成功させ国力を増大させた日本がなぜ日清・日露戦争を通して大陸に進出していったのかを、国際的視野の中で、その社会的背景とともに学ぶ。	●	●		●
	10	第4章 近代産業の発展と国民生活 71 近代産業はどのように発展していったのだろうか 72 産業の発展はどのような問題を発生させたのか 73 明治時代の学問や思想にはどんな特徴があったのか 74 明治文化にはどのような特色があったのだろうか 【第3回考查】	①日本の産業革命の過程を整理し、特に重工業については政府の保護によるところが大きかったことに留意して学ぶ。 ②産業革命による変化が社会にもたらした影響を学ぶ。 ③西洋文化の摂取がもたらした、生活・文化・思想などへの影響を学ぶ。〈道德教育を実施〉	●	●	●	●
		第5章 第一次世界大戦と日本の社会 75 日露戦争後の政治はどのように変化したか 76 第一次世界大戦にかけての日本外交のあり方は 77 第一次世界大戦後の国際情勢のありさまは 78 第一次世界大戦は日本にどのような影響をあたえたか 79 政党政治はどのような展開をみせたのだろうか 80 デモクラシーの風潮はどんなところにみられたか 81 文化の大衆化にはどのような特徴がみられたか	【第3回考查】 ①大正政変を引き起こした護憲運動の目的を学ぶ。 ②大正政変から第一次世界大戦参戦までの政治の過程を学び、日本が第一次世界大戦に参戦した目的を、当時の日本が置かれていた状況を踏まえて学ぶ。 ③第一次世界大戦後の日本社会の変化を、国際情勢と関連づけて学ぶ。 ④日本で最初の本格的政党内閣である原敬内閣の成立過程と、政策の内容について学ぶ。 ⑤第二次護憲運動とその根底にある大正デモクラシーの風潮を総合的に考察し学ぶ。 ⑥日本の外交政策が、当時の国内の政治・経済状況だけでなく、中国の動向に関連して展開されてきたことを学ぶ。 ⑦都市を背景にした大衆文化について、マスコミの普及、大正文学、プロレタリア文学について学ぶ。	●	●	●	●
		第6章 軍国日本の形成と第二次世界大戦 82 昭和初期の国内政治の特色とは 83 昭和初期にはどのような外交政策がすすめられたか 84 第二次世界大戦前の国際情勢はどんなようだったか 85 軍部はどのようにして台頭したのだろうか 86 中国との戦争はなぜ長期化したのか 87 アジア太平洋戦争はどのように始まったのか 88 アジア太平洋戦争はどのように推移したのだろうか 89 戦時下の国民生活や社会のようすは 90 日本はどのようにして敗戦をむかえたのだろうか	①軍部・右翼の台頭と軍国日本の形成には、世界恐慌、昭和恐慌が深く影響していることを学ぶ。 ②満州事変後の関東軍の暴走、および国内における軍国主義の進展、国際連盟脱退に関連づけながら学ぶ。 ③二・二六事件後の陸軍の勢力拡大と、盧溝橋事件から始まる日中戦争の経過について学ぶ。 ④ドイツ・イタリアとの同盟とアメリカの経済制裁に関連させながら太平洋戦争開始の背景と経過を学ぶ。 ⑤戦時下の国民生活の崩壊、アジア・太平洋地域への侵略の実態（従軍慰安婦、中国・朝鮮人の強制連行や徴兵制など）について学ぶ。 ⑥沖縄戦、学徒出陣、広島・長崎への原爆投下について、連合国軍や国内の軍部の動向と関連させ、さらには戦後の日本と国際政治を見通して理解させる。〈道德教育を実施〉	●	●	●	●

年間学習計画				—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—				重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目		学 習 の 内 容		関	思	技	知		
3	11	第5編 現代		①GHQによる占領政策と諸改革について、当時の世界情勢と関連させながら考察し、その初期占領政策のもとで成立した新憲法の意義について学ぶ。 ②農地改革と財閥解体により、軍国主義の温床とされていた寄生地主制と財閥が解体され、GHQによって経済が民主化されていく過程を学ぶ。 ③冷戦構造の変化が極東政策の転換を余儀なくさせたこと、さらに日本を西側陣営の一員に組み込むため、講和独立への動きが進められたことを学ぶ。		●	●	●			
		第1章 占領下の日本									
		91 戦後の国際情勢はどんなようすだったのだろうか									
		92 日本の民主化はどのようにおこなわれたか									
		93 占領下の政治はどのようなものだったか									
		94 戦後の経済再建はどのようにおこなわれたのだろうか									
		95 戦後の人々の暮らしはどのようなであったか		【第4回考査】							
		【第4回考査】									
		第2章 日本の独立回復と戦後政治		①戦後の経済復興、技術革新と高度成長、経済の国際化など、日本経済の発展と国民生活の向上について、戦後の生活意識や価値観の変化に基づいて学ぶ。 ②国内の治安体制の強化政策は、占領終了後の秩序の維持であるとともに、国際社会の冷戦構造を背景にしていることを学ぶ。		●	●	●	●		
		96 占領政策はどのように推移したのだろうか									
		97 独立後の日本は国内再編をどのようにすすめたか									
		98 55年体制はどのようにして成立したのだろうか									
		99 自民党政権はどのような政策をおこなったのか									
	12	第3章 経済大国日本への道		①高度経済成長の背景として、戦後の経済の民主化政策があったことに留意して学ぶ。 ②ドルショックと石油危機によって、高度経済成長時代に輸出の好調を支えてきた条件が失われたことを学ぶ。 ③現代社会の動向と日本の課題および役割について、国際理解の推進と世界の中の日本の立場や、日本の国際貢献の拡大などの視点で学ぶ。 ④石油危機後、日本はいちはやく安定成長に転換したが、貿易摩擦問題やバブル景気の過熱などが引き起こされたことを学ぶ。また、バブル崩壊後の現在でも平成不況が続くなか、今後、日本あるいは生徒が歩むべき方向についてともに考える。〈道徳教育を実施〉		●	●	●	●		
		100 高度経済成長はどのようにして始まったのだろうか									
		101 経済大国日本はどのような課題に直面したのだろうか									
		102 冷戦の終結により世界はどのように変わったのか									
		103 55年体制はどのようにして終わったのだろうか									
		104 世紀末の日本社会はどのようなものだったか									
		105 これからの日本はどうあるべきだろうか									

